

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

主計局へ 提出

昭和拾陸年四月廿五日

西部共同火力発電會社ヨリ、受電設備一般説明

西部共同火力発電株式會社戸畑発電所ヨリ八幡製鐵所作業用トシテ
最大一〇、〇〇〇キロワット、受電ヲ行フ為ニ戸畑発電所構内ニ日鐵中原變電
所ヲ設置シ受電マカツ一、〇〇〇ヴオルトヨリ三三、〇〇〇ヴオルトニ遞昇シ地
中電纜ヲ以テ八幡戸畑間炭滓搬出鐵道線路ニ沿フテ八幡製鐵所構内
既設第三發電所ニ導キ三三、〇〇〇ヴオルトヨリ六、六〇〇ヴオルトニ遞降ノ上既
設第四發電所ト連絡スルト共ニ構内各所ニ配電セントスルモノナリ
一、戸畑発電所日鐵中原變電所間連絡線

(イ) 區 間 西部共同火力戸畑発電所日鐵中原變電所間

亘 長 地中電纜ニ〇〇米

(ロ) 電氣方式 交流三相三線式

最大電壓 一、〇〇〇ヴオルト

送電容量 二五、〇〇〇ヴオルト、アンペアニ回線

(ハ) 地中電線路ノ構造

製本製鐵株式會社

電 纜

單心ジコト捲被鉛紙絶緣電纜 心線銅線

素線直徑三ニ耗 素線數一ニニ本

切斷面積一、〇〇〇平方耗 六條

其ノ構造及性能、大要ニ第一圖ニ示ス

布設方法

ダクト式

該區間ニダクトヲ設ケ其ノ中ニ前項ノ電纜六條ヲ並列ニ

配置スルモノトス

ニ、中原受電線

(イ) 區 間 日鐵中原變電所第三發電所間

亘 長 地中電纜 五、ニ耗

(ロ) 電氣方式 交流三相三線式

最大電壓 三三、〇〇〇ヴオルト

送電容量 一五、〇〇〇キロワット、アンペアニ回線

(ハ) 地中電線路ノ構造

電 纜

鋼帶鎧裝 S L 型紙絶縁三心電纜心線銅線

素線直径ニ三耗素線数三七本

切断面積一五〇平方耗 二條

其構造及性能ノ大要ハ第二圖ニ示ス

布設方法

直接埋設式

八幡戸畑間炭滓搬出鐵道ニ沿ヒ深サ六〇〇耗ノ箇所ニ鐵筋混凝

土トラフツ埋設シトラフ内ニ前項ノ電纜ニ條ヲ並列ニ配置シ川

砂ヲ元填ノ上鐵筋混凝土蓋ヲ以テ覆フモノトス

途中橋梁ノ箇所ハ橋梁上側面ニ布設シ隧道内ハ側壁ニ吊架スモノトス

三第ニ第四變電所連絡線

区 間

第三第四變電所間

巨 長

架空電纜 一、三六九

電氣方式

交流三相三線式

最大電壓

六六〇〇ヴォルト

製本製鐵式會社所

送電容量

九〇〇〇キロヴォルト・アンペアニ回線

架空電線路ノ構造

電 纜

鋼帶鎧裝被鉛紙絶縁三心電纜心線銅線

切断面積ニ五〇平方耗 四條

其構造及性能ノ大要ハ第三圖ニ示ス

支持物

既設第三第四變電所連絡用支持物ニ添架スモノトシ其構造ハ

柱間距離平均一〇米最大ニ三米鋼骨柱ニシテ相互柱間ニ組合

セ鋼骨横桁ニ依リ接續支持スルモノトス

以上